



東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園
／荒川区立第三日暮里小学校併設園

発行日 令和元年6月28日
発行者 園長 末永 寿宣

7月号

東日幼の読書活動～本は心の栄養 園長 末永寿宣

心を育てるには、本が一番です。園児の頃から本に親しみ、本の面白さを知った子どもたちは、豊かな発想と思慮深い感性を自然と身につけます。東日暮里幼稚園では、読書活動に力を入れています。

○絵本の部屋の充実

園内には、約3000冊の絵本があります。絵本との出会いは、かけがえのないものです。幼児期は、字ではなく「絵を読む」時代と言われます。たくさん本と出会い、豊かな心を育てたいものです。絵本の部屋では、子どもたちが選びやすいように本がテーマごとに分類されています。

○絵本の棚の活用

登園すると、椅子に座って絵本を友だちと一緒に開きます。毎日、本に親しむ環境が整っています。読書によって他の人が経験したことを自分のものとしてすることができます。読書経験をとおして、将来、社会を見る目が養われていきます。

○併設小学校の学校図書館を活用



▲学校図書館の利用回数を重ね、子どもたちは絵本の選び方や利用の仕方にも慣れてきました。

全園児が併設小学校である第三日暮里小学校の学校図書館を利用しています。全園児がバーコードのついたカードを持ち、図書を借りることができます。小学校の図書館には、蔵書が約15,000冊あり、この蔵書数は「文部科学省学校図書館図書標準」の183%に当たります。

また、保護者対象に「おとなの読書通帳」を発行し、保護者の方も利用可能なシステムもできました。この通帳には本の値段を記載でき、今月いくら分読んだか、値段と照らして楽しんでいただいています。



▲「本が好きな子は？」の問いかけに「はい！」と元気に手をあげる、本が大好き園児たちです。



▲日常的に身の回りに本があることで、いつでも手に取って遊具と同じように本に親しんでいます。

7月のねらい

- 〈年少〉
 - ・教師や友だちと一緒にいろいろな遊びを楽しむ。
 - ・水の感触を楽しみながら、喜んで水遊びをする。
- 〈年中〉
 - ・自分なりの動きを出しながら友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・水の感触や水の中で動くことに興味をもって、友だちや教師と一緒にプール遊びを楽しむ。
- 〈年長〉
 - ・考えやイメージを出し合いながら友だちと一緒に遊びを進めていこうとする。
 - ・友だちと一緒に水の中でいろいろな動きをしたり、自分なりに挑戦したりして、プール遊びを楽しむ。

